レッスン：SPA/NO.40

テーマ：部屋の中のピラミッド

SPA/40/KE8D/5

私の姉妹・兄弟達

スピリット、光、火の子供達よ。私たちは常に主、絶対、主の聖性に抱かれています。

最後のレッスンで説明したように、真理の探究者が経なければならないもっとも重要なワークのひとつとして現在のパーソナリティーの部屋の中、および小さな四面ピラミッドの中で行うワークがあります。小さな四面ピラミッドの築き方はもう教えられています。説明したように、この小さな四面ピラミッドを築く目的は、最初は、様々なエレメントを司っているアークエンジェルのオーダーに同調することではありません。目的は現在のパーソナリティーに付き添っているアークエンジェルたちに同調することであり、それらのアークエンジェルたちは現在のパーソナリティーが現れのレベルを認識できるように助けてくれます。そして現れのレベルと言う時、その意味は思考・行動の仕方としてのレベルです。現在のパーソナリティーが今いるレベルです。

彼らはどのようにして助けるのでしょうか？彼らが助けてくれるのを現在のパーソナリティーがどれほど受け入れるか、によります。言い換えれば、現在のパーソナリティーは自分で努力してワークする必要があり、さもなければアークエンジェルたちはプレゼントとして何かを与えてくれることはしません。もし現在のパーソナリティーがワークをする用意があれば助けてくれます。そして述べたように、最初のアークエンジェルはミカエル、二番目はガブリエル、三番目はラファエル、四番目はウリエルです。

さて、なぜその順序に従うのでしょう？事実を言えば、もし現在のパーソナリティーが同時に四つののアークエンジェル全部に一度にフォーカスできるなら理想的です。このワークから恩恵を得るためにはそれら四つ全てにフォーカスする必要があり、その時初めて、つまり四つ全てにワークした時はじめて、それがどれほどの益をもたらしてくれるかがわかるのであり、それまではわかりません。

さて、私たちがそれに触れる、タッチする、あるいは同調すると言いますが、最初の瞬間からあなた方はそれに成功するのでしょうか？違います。あなたは存在するのを感じるだけです。四つの感覚を通じて目の前にいるアークエンジェルを見るわけではありません。最初は一人のアークエンジェルが存在することを、次には二人のアークエンジェルが存在するのを、次には三人の、そして最後は四人のアークエンジェルが存在するのを感じるのです。しかし、四番目のアークエンジェルまでいくと、単に四人のアークエンジェルが存在すると感じるのみならず、それに確信を抱くようになります。まだ彼らを見ることはできませんが、それらの存在を確信するようになります。

ですから、ミカエルのサイドからスタートします。最初はそこにイメージを見るかもしれませんが、いいですか、あなたが見るそのイメージはミカエルではありません。そのイメージはあなた自身のものです。あなたの背後についても同じです。ガブリエルに属するものですが。他のサイドについても同じことが言えます。

なぜでしょうか？なぜ最初は自分のイメージを見るのでしょうか？なぜなら、部屋にいる間、言い換えれば地中の無知のなかに閉じこめられている間は、どの方向にフォーカスしようとも、あなたが見るものはあなた自身のイメージなのです。そしてあなたがどのような努力をしようとも、それは低次のセルフ、つまり無知のなかにいるセルフを喜ばせるだけです。言い換えれば、フォーカスすることは現在のパーソナリティーを無知のなかに引き止めることになります。ですから現在のパーソナリティーは、このイメージから必死に目をそらす、つまりフォーカスしないように一生懸命に努力する必要があります。

さて、この小さなピラミッドのなかにいる間、探求者は三面ピラミッド、五面ピラミッド、一面ピラミッドなどのような他のシンボルをも使うようになる、と述べてきました。六面ピラミッド、七面ピラミッド、八面ピラミッドについてはどうなのでしょうか？現在のパーソナリティーの部屋のなかの小さな四面ピラミッドにいる間は、現在のパーソナリティーは六面ピラミッドについてワークすることはありません。知識としてのみそれを与えられるようになりますが、ワークとして行うことはありません。それはもはや地中ではなく地上に置かれている大きな四面ピラミッドのなかにいる自分を見いだすようになった後で対面することです。

Page2

以前のレッスンでお話したように、小さな四面ピラミッドの中で行う努力とは現在のパーソナリティーが自分の現れのレベルを認識できる段階に到達するためのものです。つまり現在のパーソナリティーがいわゆる意識的意識のセルフ・エピグノシスを表現するようになるためのものです。そしてそのステート（意識レベル）に到達することによって、現在のパーソナリティーは大きな四面ピラミッドのなかにいる自分を見いだすようになります。しかし（だからといって）現在のパーソナリティーがイリュージョン、幻想から解放されるということではありません。多くの違いがあります。その時でも現在のパーソナリティーはまだ地にフォーカスするでしょうが、何が良くて何が悪いか、何が助けになって何が助けにならないか、を知るようになるのです。しかしそれでも、現在のパーソナリティーは弱点という意味でのイリュージョンをいくらか経験することでしょう。そうです、現在のパーソナリティーにはその段階でもいくらかの弱点、欠点がありますが、それは避けがたいものです。

さて、大きな違いは現在のパーソナリティーが上に向けてフォーカスできるという点であり地面の中、地中の部屋にいる間は現在のパーソナリティーはどこにフォーカスしてもそれは全て土なのです。なぜなら、現在のパーソナリティーは土のなかにいるからです。

さて、シンボルに戻りますが、前に言ったように現在のパーソナリティーは五面ピラミッドを使わねばならなくなります。このピラミッドは何を示し、またなぜ五芒星ではなくてピラミッドなのでしょうか？どのような違いがあるのでしょう？なぜ私たちは底辺をシンボルとして使う代わりに四面ピラミッドを使うのでしょう？それは四角です。なぜピラミッドなのでしょう？なぜだと思いますか？その理由は現在のパーソナリティーは自分を現わすのに「マインド」使うからであり、様々なバイブレーションのマインド、特に形と実存を帯びる低次のバイブレーションのマインドを使います。そして過去に述べたように、四面ピラミッドは四つのエレメント、つまりマインドの一番低いバイブレーションを示しています。

それではなぜピラミッドが他のシンボルにも使われるのでしょう？なぜピラミッドなのでしょう？それも同じ理由からです。なぜならば現在のパーソナリティーは肉体を使用してセルフを現しますが、肉体は物質からできています。地、土のバイブレーションである物質です。そして私たちはピラミッドとしてのこれらのシンボルの中でワークをしなければなりません。そこには形、三次元全部としての実存があります。三つの次元のなかの二つの次元だけではありません。

さて五面ピラミッドに戻ります。過去のレッスンで述べたように、このピラミッドは現在のパーソナリティーが五つの超感覚（それは現在のパーソナリティーの本当の感覚です）の使用を通じてもっともっとセルフを現わすのを助けます。こう述べたからといって、現在のパーソナリティーが小さな四面ピラミッドのなかにいる間にこれら五つの超感覚を意識的に使うようになるということではありません。しかし、現在のパーソナリティーは自分の夢を思い出すことができるようになるでしょう。夢はもっと生き生きしたものとなり、ファンタジーですらもっと生き生きとなり、記憶はもっと生き生きとなります。なぜでしょう？なぜなら、現在のパーソナリティーはそうとは気づかずに五つの超感覚を使用しているからです。

さて、もし私たちが三面ピラミッド…それは四面ピラミッドの次に来る最初のシンボルですが…に来た場合、そのシンボルは何を意味しているのでしょう？四面ではなくて三面です。これは「生それ自体」の主な特質を意味します。一つは「絶対英知」、もう一つが「絶対善」、そして最後は「絶対パワー」です。「生それ自体」の主な三つの特質です。この小さなピラミッドのなかでワークすることによって；現在のパーソナリティーは何を達成するのでしょう？何を達成しようとするのでしょう？「生それ自体」からもっともっと表現するようになります。

次のシンボルは一面ピラミッドであり、言い換えれば円錐形です。そして過去に述べたように、このピラミッドは意識の拡大、意識があらゆる方向に広がっていくことであり、いわゆる回転ピラミッド、あるいは回転意識と言ってもよいでしょう。

さて、現在のパーソナリティーが小さな四面ピラミッドのなかで築くことになる三つのピラミッドについて述べました。そうです、最初は四面ピラミッドからスタートしますが、その後で五面ピラミッド、一面つまり円錐へと続きます。実際にはワークは同時にそれら全ての中で行われます。しかし、繰り返しますが、現在のパーソナリティーはこれら三つのシンボルに同時にフォーカスすることはできません。ですから、どれか一つからスタートしなければならないのです。それが唯一の理由です；さもなければ、もし可能であるなら現在のパーソナリティーは同時にこれら三つのピラミッドを築き、同時にこれら三つのピラミッドのなかで異なったワークを行うべきなのです。

Page3

さて、これら三つのピラミッドのなかで行うワークの仕事は一つです。それは不定形な体の再形成、作り替えです。このワークは、現在のパーソナリティーが地上にある大きな四面ピラミッドの下にある部屋にいる間に、何であれ可能な限りにおいて到達するのを助けます。

さて、皆さんのなかには部屋のなかに小さな四面ピラミッドを築いた際、残念なことに部屋の各サイドからピラミッドを築き始めた人がいます。つまり、部屋の底面とピラミッドの底面が同じ、同じサイズにしてしまった人がいますが、そうすべきではありません。部屋の底面はピラミッドの底面より大きいものであるべきです。どのぐらい大きくすべきか？それは問題ではありません。それはあまり重要ではありません。こういうと、自分はすでに築いてしまったと言うかもしれません。でも、変えるのをそう困難なことではありません。皆さんは建築家である、築く人でもあります。皆さんはそれらのシンボルを好きなどんなサイズにでもすることができます。

さて部屋があり、部屋のなかには小さな四面ピラミッドがあります。そしてピラミッドの頂点は部屋の外に出ています。その理由はすでに説明しました。さて、それではこの小さな四面ピラミッドのなかに、皆さんはこれから三面ピラミッドを築きます。四面ピラミッドのなかに三面ピラミッドを造り、勿論それはより小さなサイズになります。このことを覚えておいてください、なぜならさらに他のピラミッドも続くからです。

それでは、三面ピラミッドをどのようにして築くのでしょうか？底面は部屋および四面ピラミッドの床に置かれます。まず各辺が同じ長さである正三角形を作り、それを床、つまり四面ピラミッドの底面に置きます。三角形には三つの角がありますが、そのうちの一つの角は四面ピラミッドの純白のサイドに向いているようにします。その向きに三角形を置くと、（＊私たちが純白のサイドに向かって立っている時）背後に一辺がきます。そしてもう一辺が右手に、残りの一辺が左手にきます。

さて、三角形のこれらの辺から上に向けて三つの三角形を造ります。つまり三面ピラミッドのサイドです。そして三つのサイドの頂点が上に、私たちの頭の少し上にできます。これで四面ピラミッドのなかに三面ピラミッドができました。四面ピラミッドの底辺と平行になっている辺は私たちの後ろにある辺だけです。そして頂点は四面ピラミッドの内側にあります。

過去に述べたように、四面ピラミッドの内側ではピラミッドの各サイドからそれぞれ異なった色が放射されています。それでは三面ピラミッドのなかではどうでしょうか？このピラミッドの各サイドから色が、光が放たれているのでしょうか？今のところ、そこから放たれる色は純白の色だけです。三面ピラミッドの全てのサイドからは、今のところ、今あなたが行うワークの場合には、純白の輝きが放たれています。

四面ピラミッドからの光はどうなるのでしょうか？それらの色は三面ピラミッドのなかまで浸透して来ないのでしょうか？四面ピラミッドからの光の色は三面ピラミッドの外側に触れているだけです。皆さんはそのように三面ピラミッドを築きます。繰り返しますが、三面ピラミッドは四面ピラミッドよりも小さくなければなりません。

さて、それでは非常に重要なエクササイズに入りますが、皆さん一人一人座って考えてください…「これまで何をしただろうか？これまでいくつのエクササイズが与えられたのか？きちんと練習しただろうか？エーテルの様々な特質を使うことができるだろうか…運動エーテル、感覚エーテル、そして特に刻印エーテルは？」そのように自分自身に問うことによって、もしそれらのエーテルを高度な能力で使うことができないと思うなら、過去に与えられたエーテルの特質をマスターするためのエクササイズを行わねばなりません。なぜなら、あなた方はこれらのシンボル、モニュメントをできるだけエーテル存在に近づけて築く必要があるからです。

私たちはそれらのシンボルをモニュメントとして築かねばなりません。そのためには多くのワーク、多くの努力が必要です。しかし築くためには、何かを創造するためには、創造エーテルも必要です。それこそが実際に必要となるものです。

Page4

私たちは創造エーテルを使うことができるでしょうか？過去に、創造エーテルは他の三つの特質をマスターした結果として付け加えられると話しましたね。そのとおりです。しかし、創造エーテルが加えられると述べた時、その意味は、創造エーテルは現在のパーソナリティーの意志のもとにある、超意識的に使われる、というものです。今でも創造エーテルを現在のパーソナリティーはそうと知らずに使っています。現在のパーソナリティーが様々なエレメンタルを築くのをどう思いますか？想念の活動、動きが表現されるのをどう思いますか？そうです、現在のパーソナリティーは創造エーテルを潜在意識的に使っています。

ですから、あなた方は座って、「これまで自分は何をやり遂げだろうか？」と自分に問い、過去に与えられたエクササイズを練習してください。

さて今、一日に何回ぐらい練習しなければならないでしょうか？もし可能なら三回行います。最低でも２回行います。朝一回、昼食時に一回、そして夜ベッドに入る前に一回です。一回に10分から15分で十分です。

エクササイズ　SPA 40 NO.1

静かに座り、心を騒がせるもの全てを解き放ちます。そして真っ白な中にいる自分自身をイメージし、自分の形の境界を感じます…同時にあなたは純白の五芒星の中で守られています…さて、今あなたはあなたが築いたモニュメントである小さな四面ピラミッドのなかに立っています…その小さな四面ピラミッドが自分の部屋のなかにあることに気づいています…あなたの正面には純白の光が輝き、右側には赤い輝き、後ろには空色の輝き、そして左側にはウルトラ・バイオレットの光が輝いており、それら四色の輝き、光があなたに触れています…この小さな四面ピラミッドのなかで、全く確信はないのですが自分が一人ではないという直感を抱いています…確信がなくても、恐れは全くありません…四面ピラミッドのなかでは全く恐れを感じません。

三面ピラミッド…今、床の上に三辺が同じ長さの正三角形があり、あなたはその三角形の真ん中に立っています…その三角形にフォーカスする必要はありません、あなたは三角形がそこにあるのを知っています、なぜならその三角形を造ってそこに置いたのはあなただからです、その三角形はこれから造る三面ピラミッドの底面です…その一つの角はあなたの正面にあり、もう一つの角はあなたの右手後方、もう一つの角は左手後方にあります…あなたはその三角形の真ん中に立っています…そして今、三角形の各辺から上に向かってそれぞれのサイドが上昇していきます、そして徐々にゆっくりとあなたによって三面ピラミッドが築かれていきます、前に説明したようにその頂点はあなたの頭上約30センチのところにあります…そして今、あなたは三面ピラミッドの各サイドから放たれる純白の非輝きによって包まれています…この純白の光の輝きは非常に明るく、四面ピラミッドにおけるあなたの正面のサイドの純白の輝きよりもずっと明るく輝いています…しばらくの間、あなたはどこにもフォーカスしません、何であれこの三面ピラミッドのなかで生じることを受け入れます、この輝きの影響に自分を委ねていきます…自分を開いて委ねます、そして徐々にあなたは何か異なったフィーリングを感じます…何か異なったフィーリングがあります…あなたの現在のパーソナリティー全体の健康を願います。

私たちは常に主、絶対、聖なる主によって守られています。終わります。

これらのエクササイズは始まったばかりだということを覚えておいてください。これからたくさんのエクササイズが続きます。これまでのように沢山の知識が与えられることはありません。これらのエクササイズを行った結果としてあなたが進歩しなければ、さらなる詳細を提供することはできません。言い換えれば、私たちには進歩が必要です。何であれ与えられるものが現在のパーソナリティーを益するようになるために、気づきの上昇を期待しているからです。

Page5

**質問**：以前、講義のなかであなたが四面ピラミッドについて話していた時に、初めの頃小さな四面ピラミッドのなかでワークをしている時に全ての方向に自分自身のイメージを見がちである、と述べましたね。そしてあなたは、このイメージから目をそらす、そこにフォーカスしないように一生懸命努力する必要がある、と言いました。そのイメージとは低次の現在のパーソナリティーなのですか？

**答え**：それは実際あなた自身のイメージです。それはあなたが鏡を見るときと全く同じイメージです。鏡のなかに見えるのはあなたのイメージであり、あなたが毎日の生活のなかでどのような努力をしようとも、それはあなたが鏡のなかに見る自分のイメージのためにしているのです。鏡のなかの自分のイメージにとってベストなことを一生懸命に努力してやっているのですが、生憎そのイメージは地のなかにあり、あなたはそのイメージを地面のなかに止めています。ですから、私たちはそこにフォーカスするのを止める必要があります。私たちはそのイメージを見て、それに魅惑されています。それはどのように見えますか？とても美しく見えます。しかし、美しいと言いましたが、それは全ての欠点なのです。その美、それは全くの弱点、欠点です。しかし、私たちはそれをとても美しいと考え、それに魅惑され、それを欲します。そして、欲しいと思うとき、それは低次のセルフがそれに魅惑された状態に留まっているということです。

これは一般に人が地面のなかで無知な状態にある場合のことです。人がいわゆる意識的意識のセルフ・エピグノシスを表現することによって、地面の外に出ても、それでもその人は無知のなかにいるでしょう。そして古代ギリシャによれば、現在のパーソナリティーが大きな四面ピラミッドのなかにいて、ヘラクレスのようなセルフを現している時、その時初めて現在のパーソナリティーはエゴの様々な側面を殺す努力をするようになります。なぜなら、現在のパーソナリティーはその時、何が善であり何が悪であるかに関しての知識を持つようになるからです。何が善で何が悪なのでしょう？（＊善とは）サイコノエティカルな成長に向けて導くもの、啓発に向けて導くもの、現在のパーソナリティーの自己実現へと導くものです。（＊その時には）地面のなかにいた時のように、小さな四面ピラミッドのなかにいた時のようにイリュージョンを抱くことはもはやありません。

**質問**：三面ピラミッドは四面ピラミッドより小さいので、三面ピラミッドに向かって放射されている光の色はどうなるのですか？三面ピラミッドの方に放射されている様々な色はオーバーラップ（重複）するのでしょうか？つまり、それらの色の光はより高いところから来るので、それらの色は三面ピラミッドを包み込み、完全に重複し、重なり合うのでしょうか？

**答え**：違います。それらの色は前と同じように中心に向けて放たれています。それらの色がどのようにして三面ピラミッドに触れるかに関しては、今のところ私たちは全く注意を向けません。三面ピラミッドにどのようにして触れるか、それは重要なことではありません。前に述べたように、四面ピラミッドの各サイドから放射される色は三角形の形で留まります。それらは中心まで行きません、なぜなら中心には今やもう一つのモニュメント、つまり三面ピラミッドがあるからです。

かつてインカではパワーと能力を現すために、テクニカルな手段、魔術として一面ピラミッドが多く利用されてきました。なぜならそれがパワーをもたらしたからです。それについては前にお話しました。それゆえに、もしあなた方が彼らのテントを見ることがあれば、それはこの形、円錐形をしています。それは偶然ではありません。彼らは過去において、三面ピラミッドあるいは五面ピラミッドを全く使用しなかったのです。使われた唯一のもの、パワーと能力、つまり魔術のために使われたのは異なった星、ピラミッドとしてのこれらのモニュメントの底面です。それらは無知のなかにいる現在のパーソナリティーのためのものではありません。なぜなら、それらの星は創造界の不動の法則と関係しているからです。それゆえに、それらを使用することによって、それらを誤用することによって、彼らはパワーと能力を現したのです。

EREVNA SPA/40/K8/05 SPA/40 5/END.